

# 町田市景観計画 アクションプラン (2016～2020年度)

～五感で感じる景観づくり「見る」「聞く」「香る」「味わう」「触れる」～



2016年8月

町田市



# 目次

第1章 「町田市景観計画」アクションプランについて	1
1. 「町田市景観計画」アクションプランとは	1
2. アクションプランの期間	1
3. 19の実践施策	1
第2章 2016年度からの景観づくりの取り組み	2
1. 景観づくりの新たな視点	
～五感で感じる景観づくり「見る」「聞く」「香る」「味わう」「触れる」～	2
2. 新しい5年間の取り組み	4
第3章 成果指標と目標水準	9



# 第1章 「町田市景観計画」アクションプランについて

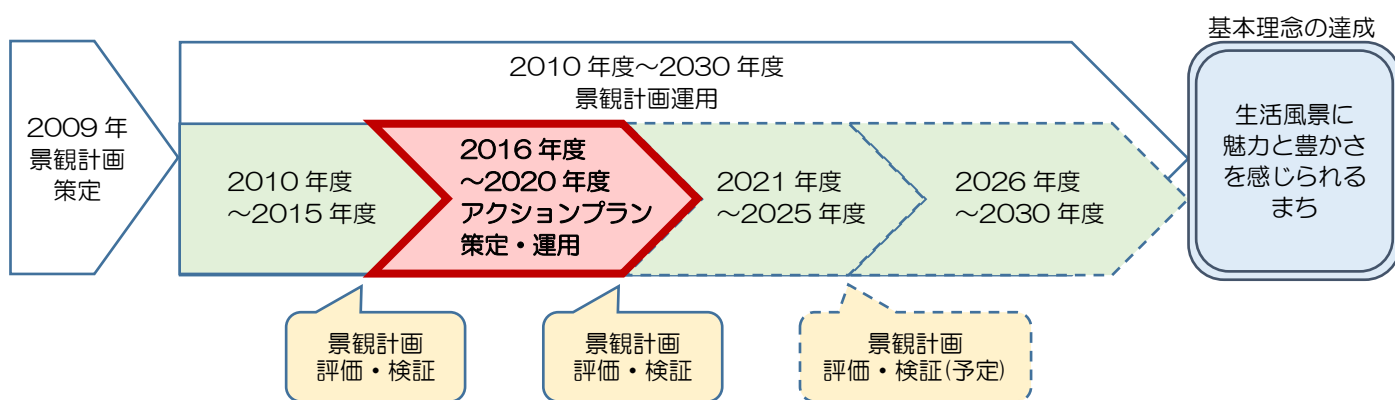
## 1. 「町田市景観計画」アクションプランとは

町田市は、より良い景観づくりを進めていくため、市民及び事業者、行政の協働による独自の取り組みを推進する計画として、2009年に“生活風景に魅力と豊かさを感じられるまち”を基本理念とした「町田市景観計画」（以下「景観計画」といいます。）を策定しました。

5年間の具体的な景観施策を総合的かつ計画的に進めるため、『町田市景観計画』アクションプラン」（以下「アクションプラン」といいます。）を策定します。

## 2. アクションプランの期間

本アクションプランの期間は、2016年度から2020年度までの5年間とします。



## 3. 19の実践施策

現在、景観計画の基本目標・基本理念の実現に向けて、19の実践施策を進めています。

### ◆19の実践施策

#### ○市民との協働による景観づくり

- ①景観づくり市民活動の支援
- ②生活風景宣言の登録
- ③市民参加による「地域景観資源」の登録
- ④市民提案による地域のルールづくり

#### ○事業者との協働による景観づくり

- ⑤届出制度による景観づくり
- ⑥ガイドラインに基づいた景観づくり
- ⑦景観社会実験の実施
- ⑧事業者提案によるルールづくり

#### ○行政が先導する景観づくり

- ⑨公共事業による景観形成
- ⑩他の施策・事業と連携した総合的な景観づくりの推進
- ⑪景観協議会の活用
- ⑫景観地区等のルールの活用

#### ○仕組みづくり・活動の舞台づくり

- ⑬取り組みの情報発信及び広報の充実
- ⑭町田市景観審議会の設置・運用
- ⑮町田市住みよい街づくり条例の充実
- ⑯子どもや学生等への教育・啓発活動及び学校等との連携体制による取り組み
- ⑰景観づくりセミナーやワークショップ等の実施
- ⑱景観賞の実施
- ⑲景観整備機構の活用

## 第2章 2016年度からの景観づくりの取り組み

「景観計画」では、効果的・効率的に計画を推進するため、19の実践施策を行い、進捗状況や目標の達成度などをおおむね5年毎に評価・検証し、必要に応じて見直しを行うこととなっています。

「景観計画」を2010年度から運用し、5年が経過した2015年度には、町田市景観審議会による評価・検証が行われました。その結果、①「取り組みに対する認知度の低さ」と②「市民・事業者・学校等と市の協働の必要性」の2つの課題が提示されました。（「町田市景観計画 評価・検証結果報告書」参照）

2016年度から2020年度においては、2つの課題の改善を図ることを目的に“新たな視点”での景観づくりを行い、「景観計画」の基本目標および基本理念“生活風景に魅力と豊かさを感じられるまち”の実現を目指します。

### 1. 景観づくりの新たな視点 ～五感で感じる景観づくり「見る」「聞く」「香る」「味わう」「触れる」～

景観というと、建物や街並み、山の稜線、木々の緑など、目に見えて綺麗だと感じる風景を思い浮かべます。しかし、景観とは実際に「見る」だけではなく、「聞く」「香る」「味わう」「触れる」の五感を通して感じるものです。（p3の図1参照）例えば、お祭りに行ったときには、お囃子や人々のにぎわい、出店から漂う焼きそばの匂いなど、五感の全てでお祭りの楽しさを感じ取っています。

町田市では、景観を五感で感じるという“新たな視点”をもって、魅力ある景観づくりに取り組んでいきます。

2016年度から2020年度の5年間については、「五感で感じる景観づくり」の取り組みに対する認知度の向上を図るため、身近な生活の中にある景観を対象に、以下の4つの新たな取り組みを進めていきます。

#### < 新たな取り組み >

1. 【お祭りのある景観】まちの象徴であり、地域の誇りであるお祭りを次世代に受け継ぐ。
2. 【ホテルのいる景観】ホテルが舞う美しい風景を守り育てる。
3. 【田畑のある景観】生活を豊かにする田んぼ・畑のある風景を守り育てる。
4. 【里山のある景観】子どもが冒険できる里山風景を守り育てる。

また、取り組みに参加した市民が、景観の市民サポーターとなり、普及啓発を行うとともに、自ら住むまちの豊かな景観を守り、育てる活動を行うことで、親しみと安らぎ、愛着をもてるまちにしたいと、次世代に引き継いでもらいたいと考えます。

見る



### 「見る」

山や草花、整えられた住宅街、にぎやかな商店街など、「見る」ことで美しい・華やかと感じられる景観、心が安らぐ・落ち着いた景観、ワクワクしたり元気をもらえる景観があります。

聞く



### 「聞く」

せせらぎの音や鳥のさえずり、風鈴の音や子どもの遊ぶ声などを「聞く」ことで、その土地の風土を背景にした活気や心のゆとりを与えてくれます。

香る



### 「香る」

田園に広がる稲穂の匂い、花や木々の香り、賑わう商店街から漂う美味しそうな匂いなどの「香り」が、そのまちを印象づけます。

味わう



### 「味わう」

田畑で育てた新鮮な野菜や、祭りの屋台や商店街で売られている食べ物を「味わう」ことで、その時に得られる満足感・幸福感などが目に映る風景と結びつき心に強く残ります。

触れる



### 「触れる」

自然の中で動物・植物に「触れる」感触や、風が頬を「触れる」感触は、目に映る風景と結びつくことで強く印象に残ります。

図1 五感で感じる景観

## 2. 新しい5年間の取り組み

より良い市の景観づくりを進めていくために、新たな取り組み（五感で感じる景観づくり）のほか、市民・事業者・行政の連携・協働による景観法を活用した景観づくり、景観づくりに関わる他の施策・事業との連携による総合的な景観づくりの推進など、さまざまな取り組みを複合的に積み重ね、具体的な景観づくりにつなげていきます。

番号	新しい5年間で取り組む内容	参照
新たな取り組み	1 【お祭りのある景観】 まちの象徴であり、地域の誇りであるお祭りを次世代に受け継ぐ。	本書 p5
	2 【ホタルのいる景観】 ホタルが舞う美しい風景を守り育てる。	本書 p6
	3 【田畑のある景観】 生活を豊かにする田んぼ・畑のある風景を守り育てる。	本書 p7
	4 【里山のある景観】 子どもが冒険できる里山風景を守り育てる。	本書 p8
継続的な取り組み	5 景観づくり市民サポーターの活動支援を行い、セミナーなどの開催や冊子の作成などを行なってもらうことにより、良好な景観づくりの普及・啓発を推進する。	景観計画 p171
	6 生活風景宣言制度の見直しを図り、登録数を増やす。	景観計画 p171
	7 地域景観資源の登録数を増やす。	景観計画 p171
	8 届出制度の課題整理を行い、運用の推進を図る。	景観計画 p174
	9 ガイドラインに基づいた景観づくりを行う。	景観計画 p174
	10 景観づくり市民サポーター制度などを活用した景観社会実験を実施する。	景観計画 p174
	11 南町田駅周辺において、事業者と連携した景観づくりを行う。	景観計画 p174
	12 公共事業における景観協議を行う。	景観計画 p175
	13 景観社会実験等を含んだ事業連携を行う。	景観計画 p175
	14 町田市景観審議会の設置・運用を行う。	景観計画 p177
	15 取り組みの情報発信、広報の充実 ①広報、ホームページ等の新たな活用を行なう。 ②周知活動を充実する。	景観計画 p178
	16 子どもなどを対象とした教育・啓発活動（ワークショップ）を通じて学校等との連携体制を強化する。	景観計画 p178
	17 景観賞を実施し、新たな景観資源を発掘する。	景観計画 p178
	18 景観づくり市民サポーターとの協働により、街づくりフォーラムや景観づくりセミナー、ワークショップ等を開催する。	景観計画 p178



## 新たな取り組み 1

【お祭りのある景観】まちの象徴であり、地域の誇りであるお祭りを次世代に受け継ぐ  
(基本目標Ⅲ：先人が築いた文化・歴史を受け継ぐ)

お祭り(お神輿など)は、まちの象徴であり、地域の誇りです。お祭りが近づくと、盆踊りやお囃子の練習が始まり、神社などにやぐらが組み上がるなど、準備が進むにつれて気分が盛り上がっていきます。大勢の人が浴衣で踊る盆踊り、夜空に大輪を咲かせる花火などを「見る」だけでなく、出店の焼きそばのおいしい匂いが「香る」、出店で買ったたこ焼きや綿菓子を「味わう」、花火や太鼓の響きやお神輿の掛け声などを「聞く」、触れる(感じる)など、五感の要素にあふれています。



### 五感要素



見る

浴衣  
灯籠  
神社  
花火



聞く

お囃子  
下駄  
花火  
にぎわい



香る

出店



味わう

出店



触れる  
(感じる)

御輿の熱気  
花火・太鼓の響き

### 【具体的な取り組み】

- ・市民や学生、市との協働でお祭り会場の準備・運営を行い、次世代へ文化を伝えていく取り組みを行います。
- ・親子などを対象に、お祭り会場に飾る和紙の灯籠をワークショップで製作してもらい、会場に並べ、美しい景観づくりを行います。
- ・お祭りの開催前に、「浴衣・下駄を身に着けての参加」などを呼びかけ広報・PR活動を行い、お祭りならではの風情ある景観づくりにつなげます。

### 【取り組みに関連する実践施策】(○数字はp 1を参照)

- 実践施策①：景観づくり市民活動の支援
- 実践施策②：生活風景宣言の登録
- 実践施策③：市民参加による「地域景観資源」の登録
- 実践施策⑬：取り組みの情報発信及び広報の充実
- 実践施策⑯：子どもや学生等への教育・啓発活動及び学校等との連携体制による取り組み
- 実践施策⑰：景観づくりセミナーやワークショップ等の実施
- 実践施策⑱：景観賞の実施

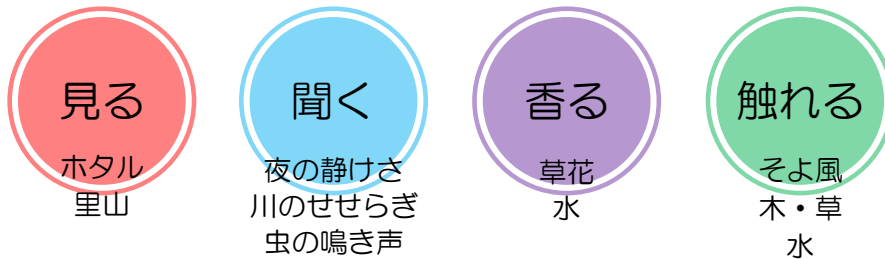
## 新たな取り組み2

### 【ホタルのいる景観】ホタルが舞う美しい風景を守り育てる (基本目標Ⅰ：自然の風景を守り育てる)

ホタルといえば、暗闇の中に幻想的な光が浮かび上がる美しい風景を思い浮かべます。ホタルの光を **見る**、夜の静けさや川のせせらぎ、虫の鳴き声を **聞く**、草花や水が **香る** などの五感の要素がたくさんあります。



#### 五感要素



#### 【具体的な取り組み】

- ・ホタル鑑賞会を開催し、ホタルの生息地の環境保全活動を知ってもらいます。興味を持った方々に活動への協力を呼びかけ、市民と市の協働により環境保全活動を進め、ホタルのいる景観を守り育てていきます。

#### 【取り組みに関連する実践施策】(○数字はp 1を参照)

- 実践施策①：景観づくり市民活動の支援
- 実践施策③：市民参加による「地域景観資源」の登録
- 実践施策⑬：取り組みの情報発信及び広報の充実
- 実践施策⑯：子どもや学生等への教育・啓発活動及び学校等との連携体制による取り組み
- 実践施策⑰：景観づくりセミナーやワークショップ等の実施
- 実践施策⑱：景観賞の実施

## 新たな取り組み3

### 【田畑のある景観】生活を豊かにする田んぼ・畑のある風景を守り育てる (基本目標Ⅳ：次世代に向けてだれもが愛着と誇りをもてるまちを目指す)

季節ごとに表情を変える田んぼや畑は、お米や野菜の供給だけでなく、保水作用による洪水や土砂崩れの防止、生き物を育む場の提供、美しい風景の形成、地域のお祭り等の伝統・文化の継承など、人々の生活を豊かにしています。美しい田園風景を **見る**、蛙の鳴き声や穂をわたる風の音を **聞く**、稲穂や作物が **香る**、取れたての作物を **味わう** など、五感の要素にあふれています。



#### 五感要素



#### 【具体的な取り組み】

- ・親子などを対象に、田植え・畑の種まき・収穫などの一連の作業や、取れたての作物を食べるなどの農業体験を企画します。田畑の良い景観を五感で感じてもらい、子ども世代に残していく活動につなげていきます。
- ・田園などの維持活動をPR・支援します。維持活動を進めてもらうことで、田園の美しい景観だけでなく、稲穂などの印象的な香りにより、心に残る景観づくりにつなげます。

#### 【取り組みに関連する実践施策】(○数字はp1を参照)

実践施策③：市民参加による「地域景観資源」の登録

実践施策⑬：取り組みの情報発信及び広報の充実

実践施策⑯：子どもや学生等への教育・啓発活動及び学校等との連携体制による取り組み

実践施策⑱：景観賞の実施

## 新たな取り組み4

### 【里山のある景観】子どもが冒険できる里山風景を守り育てる (基本目標Ⅰ：自然の風景を守り育てる)

里山は、多様な生き物の生息地として重要なものであり、子どもらが生き物と触れ合える貴重な場です。里山の中では、太陽に輝く木々の緑を **見る**、鳥などの鳴き声、風に揺れる木々の音を **聞く**、落ち葉や小川、草花が **香る**、そして、森の冷たい風が **触れる**、虫を捕まえて **触れる** といった五感の要素が豊かです。



#### 五感要素



見る

虫  
里山



聞く

川  
虫の鳴き声  
風  
落ち葉を踏む音



香る

虫  
落ち葉  
草花  
水



触れる

虫  
木  
土

#### 【具体的な取り組み】

- ・事前に地元の人達の理解を得た上で、親子などを対象に、虫捕りをすることにより里山を体感してもらいます。人と里山の関わりや里山の大切さを学んでもらうことにより、「子ども達が冒険できる里山」を守り育てていく活動を支援していきます。

#### 【取り組みに関連する実践施策】(○数字はp 1を参照)

- 実践施策①：景観づくり市民活動の支援
- 実践施策②：生活風景宣言の登録
- 実践施策③：市民参加による「地域景観資源」の登録
- 実践施策⑬：取り組みの情報発信及び広報の充実
- 実践施策⑯：子どもや学生等への教育・啓発活動及び学校等との連携体制による取り組み
- 実践施策⑰：景観づくりセミナーやワークショップ等の実施
- 実践施策⑱：景観賞の実施



### 第3章 成果指標と目標水準

「景観計画」で掲げた2015年の目標値を見直し、2020年度の目標値を設定しました。新たな取り組み（p5～p8に掲げた取り組み）などにより目標値の達成を目指します。

なお、2020年度には、各目標値の達成度を関係者へのヒアリングや市民意識調査などによって評価・検証します。

		全体指標	実績値	目標値 (2016年度から)
		日頃の生活の中で景観を意識する市民の割合	87.7%	▲
		市内全域の景観について「非常に良い」「良い」と感じる市民の割合	34.6%	50%
		市内で魅力を感じる景観があると答える市民の割合	66.9%	70%

基本理念 自然の風景を守り育てる 基本目標Ⅰ	重点目標Ⅰ-1 緑豊かな景観づくりを進める	成果指標	実績値	目標値 (2016年度から)
		里山の保全などの環境保護活動に参加したことがある市民の割合	4.4%	6%
	重点目標Ⅰ-2 町田ならではの地形を生かした景観づくりを進める	地域景観資源(眺望点)の登録数	0	▲
	重点目標Ⅰ-3 誰もが親しめる河川や水辺の空間を生かした景観づくりを進める	丹沢・大山、丘陵の眺望の保全に積極的に取り組むべきと考える市民の割合	31.4%	40%
		河川や池など水辺の空間づくりに積極的に取り組むべきと考える市民の割合	42.6%	50%

誇れるまちが並び、みずらぎをつくる 基本目標Ⅱ	重点目標Ⅱ-1 住宅地の良好な景観づくりを進める	成果指標	実績値	目標値 (2016年度から)
		居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合	60.4%	65%
		生活風景宣言の登録数	0	5件
	重点目標Ⅱ-2 にぎわいとるおいのある市街地の景観づくりを進める	町田駅周辺で長い時間楽しみたいと思う市民の割合	26.9%	30%
		違反広告除却数	1,389件	▲
	重点目標Ⅱ-3 やすらぎと地域らしさが感じられる沿道景観づくりを進める	アダプト・ア・ロード事業管理協定締結数(庁内資料)	47件	▲
		無電柱化路線延長	3,440m	▲

先人が築いた文化歴史を受け継ぐ 基本目標Ⅲ	重点目標Ⅲ-1 地域の特色ある文化や歴史を反映した景観づくりを進める	成果指標	実績値	目標値 (2016年度から)
		市内の遺跡や有形・無形の文化財を見に行った市民の割合	11.6%	▲
		小野路宿通り修景区間板塀設置件数	19軒	▲
		地域景観資源(建造物等)の登録数	0	▲

次世代に向けて、まちを愛着と誇りをもてるまちを目指す 基本目標Ⅳ	重点目標Ⅳ-1 市民・事業者・行政が協働で景観づくりを進める	成果指標	実績値	目標値 (2016年度から)
		これまでに景観に関する取り組み・活動に参加したことがある市民の割合	23.7%	40%
		景観に関するガイドラインの策定数(公共事業景観形成指針を含む)	3件	4件
	重点目標Ⅳ-2 それぞれの地域の個性や特色を生かし、地域や市全体の魅力を高める	市内の建物等について、まわりの景観と調和させるようなルールが必要だと考える市民の割合	84.5%	84.5%
		景観形成誘導地区(市民提案)の指定数	3地区	3地区



町田市景観計画アクションプラン  
(2016～2020年度)  
～五感で感じる景観づくり  
「見る」「聞く」「香る」「味わう」「触れる」～

発行年月	2016年(平成28年)8月
発行者	町田市 〒194-8520 町田市森野2-22-22 042-722-3111(代表)
編集	町田市都市づくり部地区街づくり課
印刷	町田市